

演者と巡る世阿弥

講師 味方玄（観世流シテ方）

久田舜一郎（大倉流小鼓方）

生駒山宝山寺所蔵の世阿弥伝書、禅竹伝書を参考に、世阿弥の生涯と業績をたどり、そのゆかりの地もめぐる、世阿弥生誕650年を機にスタートした講座です。毎回世阿弥作や、その関連の曲を取り上げ、講師お二方による実演もふくめたわかりやすい解説もうかがえます。

第二十六回 2026年 3月21日（土）

生駒山宝山寺と世阿弥関係文書

― 世阿弥能楽伝書『六義』・応永三十四年書写能本『知章』 ―

■受講料 1回 一般 4,600円（アカデミー会員 4,200円）

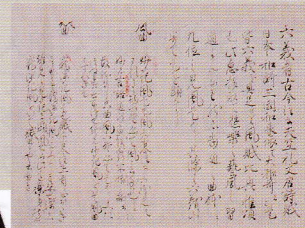
*資料費・保険料込み

*交通費・拝観志納料・お食事代等は、別途各自のご負担となります。

◆生駒山宝山寺様のご配慮により、当講座のために特別に貴重資料を公開していただきます。また通常非公開の洋風建築の客殿「獅子閣」（重文）も特別に見学させていただきます。

宝山寺が有する数々の寺宝の中で異彩を放つのが、世阿弥自筆の能本を含む金春家伝来の能楽関係の伝書で、第十五代管長隆範和上が金春宗家の兄であった縁で移管されたものだ。

今回は、世阿弥から娘婿である金春禅竹に相伝された伝書の一つ『六義』と、裏端書に「トモアキラノ能金春大夫殿」とある応永三十四年（1427）の年紀の能本を特別に拝見する。『六義』は応永三十五年三月、世阿弥66歳、禅竹24歳の時に伝えられたもので、紀貫之が古今和歌集『仮名序』に記した和歌の六種の風体に、能の芸風を当てて説いたものである。『知章』は、平家物語を素材とする修羅能で、金春家伝来の能本の包み紙に記された曲目の覚書『能本三十五番目録』（宝山寺所蔵）に追記の形で「トモアキラ」と記載されている。



獅子閣（重文）



味方玄（観世流シテ方）

父、味方健、片山幽雪、十世片山九郎右衛門に師事。KBS京都テレビ「能三昧」監修・演出・出演。2003年新作能「待月」を制作し、脚本・演出・シテを勤める。青嶂会他、独自の舞台世界創作のためテアトル・ノウを主宰。初回1996年、京都の十念寺における、蠟燭や篝火の光や風も効果的に演出された古風な形の能が好評を博す。近著に『能へのいざない』など。2004年京都府文化奨励賞、2022年「観世寿夫記念法政大学能楽賞」、2023年「京都府文化賞功労賞」など受賞。重要無形文化財総合指定保持者。



久田舜一郎（大倉流小鼓方）

1961年大倉流宗家・故大倉長十郎師に入門。京阪神を中心に能楽五流の舞台に出演、海外公演参加多数。異ジャンルの音楽とのセッションなど、能の現代性を追及する試みも積極的に行う。長女陽春子も女性では珍しい大倉流小鼓方の若手ホープとして活躍中。1998年日本文化芸術奨励賞受賞。2011年兵庫県文化功労表彰、神戸文化活動功労賞受賞。2017年兵庫県文化賞受賞。重要無形文化財総合指定保持者。西宮在住。

- * おおよその行程（予定）については裏面をご覧ください。詳細は開催日の一か月前までに申込者にご案内いたします。
- * 講座終了後、講師を囲んでお食事をいただきます。日本料理の仕出し（2500円程度）は当方でご手配いたします。
- * お申込み方法、アカデミー会員の詳細は裏面をご覧ください。



白鷹緑水苑

〒662-0926 兵庫県西宮市鞍掛町5-1

TEL0798-39-0235 FAX0798-39-0236

E-mail: rokusuien@hakutaka.jp

URL: <https://hakutaka.jp/shop.html>



9:00 近鉄奈良線 生駒駅 中央改札口 集合
9:20 ケーブル線 鳥居前駅から宝山寺駅へ。 *生駒集合の後、御寺までタクシー利用も可能です。
9:25 宝山寺駅 徒歩で宝山寺へ(約10~15分 タクシー利用も可)
9:40 生駒山宝山寺の参集殿「和光殿」広間へ
9:50 和光殿にて貴重な能本を間近に拝見し、講師お二人によるお話と実演をお聴きします。
12:15 講師を囲んでのお食事
*当方で日本料理の仕出し(2,500円程度)をご用意いたします。
13:15 希望者はお寺の方のご案内により「獅子閣(重文)」を特別にご見学いただけます。
13:30頃 各自境内参拝後自由解散 *ケーブルは1時間に3本、20分間隔で出ています。



氏名	ふりがな	電話	FAX
住所	〒		
メール			
一般 ・ アカデミー会員【会員番号: 】 ・ アカデミー入会希望			
2026年3月21日（土）			